

2020 年度

モノづくり競争力研究部会

自社の強みを磨き競争力を強化

～こだわりのモノづくりへの取り組み～

2020
5/14

2021
3/19

- 1 生産物流研究部会
- 2 生産システム研究部会
- 3 モノづくり人材育成研究部会
- 4 **モノづくり競争力研究部会**
- 5 生産現場改善研究部会
- 6 葦クラブ研究部会

登録メンバー特典

2020年 9月 29日 (火)
レイアウト改善セミナー

2020年度 モノづくり競争力研究部会

グローバル競争が激しさを増す中、日本の製造業が競争に打ち勝ち持続的に成長していくためには、自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・開発力・技術力・品質力をさらにレベルアップさせると共に、新たな価値創造、イノベーションを目指したモノづくりに挑戦し続けていかなければなりません。

そこで、当研究会では、自社の強みに磨きをかけ、新たなモノづくりへの挑戦に取り組んでいる、モノづくりの現場を訪問し、その強みの本質を探究します。是非とも、ご参加・ご登録をお願い申し上げます。

年間テーマ

「自社の強みを磨き競争力を強化」

～こだわりのモノづくりへの取り組み～

第1例会

と き 2020年 5月 14日 (木) 13:30～17:00

と ころ (株)豊田自動織機 長草工場 (愛知県大府市)

【ココ見どころ！】

プレス品の仕掛けレスとボデー工程への供給自動化による安全性と生産性の向上

「プレス工程～ボデー工程スルーでの無人化に向けた挑戦」

～将来に向けた第一歩！人に携わる作業の自動化～

(株)豊田自動織機

自動車事業部 長草工場

副工場長 兼 製造部 部長

浅尾 浩通 氏

豊田自動織機 長草工場は1967年に操業を開始した。現在は301・302の2工場でRAV4の生産を行っている。狭い工場の中で開発～生産スルーで全ての部門が一つになり運営を行っている。2019年度は売行きが好調で生産台数が32万台を達成する見込みである。また中長期ビジョンとして事業部の整備は『安全・環境・コンプライアンス』を土台に『モノづくり力強化』として圧倒的な品質・原価・納期の競争力を獲得するためTPSの考え方にに基づき継続的な活動に取り組んでいる。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。
(主な生産品目：自動車 RAV4)

第2例会

と き 2020年 7月 10日 (金) 13:30～17:00

と ころ ヤマザキマザック(株) 美濃加茂製作所 第二工場 (岐阜県美濃加茂市)

【ココ見どころ！】

最先端スマート工場でのモノづくり

「最先端技術を集結し、進化し続ける工場」

～IoT技術の活用で効率的な多品種・少量生産を実現～

ヤマザキマザック(株)

生産本部 生産技術部 部長

高木 博之 氏

ヤマザキマザックは、2019年に創立100周年を迎えたグローバルな工作機械メーカーである。2018年には「いなべ工場」を新設・稼働させ、2019年11月には、美濃加茂地区の生産機能の再編とリニューアルを行った。再編によって分散していた工程を機能別に集約するとともに、最新のIoT技術、自動化技術の活用によって高度なデジタル製造工場に生まれ変わった。今回は、進化し続けるMazaki SMART Factoryの概要と、改善の取り組みを紹介いただく。
(主な生産品目：工作機械)

第3例会

と き 2020年 9月 2日 (水) 13:30～17:00

と ころ 津田駒工業(株) 野々市工場 (石川県野々市市)

【ココ見どころ！】

産業界を支える新製品開発と現場力の向上

「高度な技術で未来を拓くものづくりイノベーション」

～最高の品質を目指して社会に貢献～

津田駒工業(株)

取締役 製造部門統括

北野 浩司 氏

津田駒工業は、1909年の創業以来、繊維機械、工作機械関連分野で業界のイノベーターとして最新の技術と製品を提供してきた。繊維機械では高機能衣料から産業資材まで様々な織物の普及を実現し、工作機械関連では高精度NC円テーブルやマシンバイスの開発で、ものづくり産業を支えてきた。2008年からは炭素繊維分野に進出し、日本初の炭素繊維複合素材の自動積層機を開発する等、新しいものづくりを進めている。今回は工作機械関連事業での取り組みについてご紹介いただく。
(主な生産品目：繊維機械、工作機械アタッチメント、炭素繊維複合材の加工機等)

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。(順不同)

運営幹事

愛三工業(株)	グローバル生産管理部生産調査室主査	戸谷 淳氏
イビデン(株)	システム推進統括部AI/IoT推進部	近下 睦氏
大同特殊鋼(株)	モノづくり改革部エンジニアリング推進室室長	渡邊 裕之氏
豊田合成(株)	生産管理部生産調査室社内1グループチームリーダー	山本 雄氏
トヨタ紡織(株)	F P T 生 技 部 主 査	高垣 孝成氏



▲ 写真はグループディスカッション風景
※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

基本スケジュール 13:30~17:00

- ① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション
- ② 工場(現場)見学
- ③ グループディスカッション
- ④ 発表・質疑応答

第4例会

と き	2020年 11月 24日 (火) 13:30~17:00
と ころ	愛三工業(株) 豊田工場 (愛知県豊田市)

【ココが見どころ!】
現場の声を図面に! 効率を追求した生産ライン、納入荷姿

「ものづくり改革活動による競争力強化」

～わいがや活動から生まれた造り易さの実現～

愛三工業(株) 豊田工場 工場長 甲斐 聖三 氏

愛三工業は、2018年12月に創立80周年を迎え、自動車の機能を制御するサプライヤーとして安全で地球環境にやさしい製品を提供してきた。燃料ポンプモジュールを生産する豊田工場では、得意先を巻き込んだ活動により、従来の困り事、やりにくい作業を現場から出た改善提案をもとに製品図面に織込み、造り易さを実現した。これらの取り組みについて現地現物でご紹介いただく。(主な生産品目：燃料ポンプモジュール)

第5例会

と き	2021年 1月 14日 (木) 13:30~17:00
と ころ	(株)ミットヨ 宇都宮事業所 (栃木県宇都宮市)

【ココが見どころ!】
匠のものづくりとイノベーションの融合

「ミットヨスマートファクトリーへの挑戦」

～精密測定で社会に貢献する～

(株)ミットヨ 宇都宮事業所 MC工場 生産技術部長 佐久間 光由 氏

ミットヨは1934年の創業以来、「品質第一」をモットーにマイクロメータ、ノギスなどの測定工具をはじめ、座標計測機器、形状測定機器、画像及び光学測定機器などのシステム機器商品の提供を通して、日本のものづくりに貢献してきた。近年は「ナノテクノロジー」の追求に留まらず、多様化する産業界のニーズに対応し、IoTや自動化促進にも連携しつつ、永年が培ってきた計測技術をもとに、お客様の生産性向上にも積極的ソリューション提案を行っている。今回はこれらの取り組みについてご紹介いただく。(主な生産品目：各種計測機器：ノギス、三次元測定機、リニヤスケール等)

第6例会

と き	2021年 3月 19日 (金) 13:30~17:00
と ころ	アズビル(株) 湘南工場 (神奈川県高座郡)

【ココが見どころ!】
多品種少量カスタマイズ生産 混流生産ライン

「グローバルな事業展開を支えるマザー工場の取り組み」

～多品種少量生産・混流生産ライン～

アズビル(株) 湘南工場 工場長 三浦 直人 氏

アズビルは制御機器、計測機器、およびシステム機器を生産している。湘南工場をアズビルグループのグローバル生産体制の中でマザー工場と位置づけ、高効率な多品種少量生産、カスタマイズ生産、混流生産の構築と高品質を確保する生産体制の標準化を進めている。今回はこれらの取り組みについてご紹介いただく。(主な生産品目：自動調節弁、差圧/圧力発信器、コンポーネント製品、システム製品)

開 催 要 領

参加対象

IE、生産技術、生産管理、製造・技術・開発部門スタッフ 等

運営方法

- ①新型コロナウイルスの感染拡大状況、講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更、参加の制限をさせていただく場合がございます。
- ②集合場所・時間等の詳細案内を開催の約1カ月前に登録メンバーへEメールにてご案内しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の方の参加も可能です。
- ③各例会とも指定の集合場所・時間に各自でご集合下さい。**現地集合・現地解散**
- ④視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。
その際は、他の例会への振替参加(+1名)をご案内いたします。
止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合がありますのでご了承願います。
- ⑤各例会とも、録音・写真撮影はご遠慮願います。
- ⑥年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

年間登録費

- | | | |
|----------|----------|-----------------------------|
| 中部IE協会会員 | 75,900円 | 〔1名につき、
資料代・消費税(10%)を含む〕 |
| 一般 | 114,400円 | |
- ①年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、**請求書に記載の期日迄**に下記の指定銀行へお振り込み願います。
なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。
 - ②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義:中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通 No.1602917	名古屋銀行上前津支店	当座 No.3116141
愛知銀行本店営業部	当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店	当座 No. 494070
中京銀行本店営業部	当座 No. 112438		

- ③**5月8日(金)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。
(ご登録者の変更をお願いいたします)
(途中からの参加も可能です)

申込締切日

2020年 5月 7日(木)

登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。
(途中からの参加も可能です)

メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記の講座へ**会員価格の半額**でご参加いただけます。
詳細は個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

2020年 9月 29日(火) レイアウト改善セミナー (28,600円→14,300円 消費税(10%)含む)

※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。
なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。
参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込まますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問い合わせ窓口 担当:齋藤・岩本 TEL052-221-1261】

お申込み・問い合わせ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)

TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265

<https://www.cpc.or.jp> 担当:村田・吉村

●中部IE協会 ホームページからもお申し込みいただけます!

中部IE協会

検索

2020. 3. 2

2020年度 モノづくり競争力研究部会[第4部会] 登録申込書

<フリガナ>

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
2	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
3	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				
4	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	() -
			FAX	() -
E-mail				

※ E-mail にて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日()]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(75,900円・114,400円) [消費税含む] × □ = 円

(事務局記入)

請求 / No.202020

第1部会

生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

生産システム研究部会

リードタイムの短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

モノづくり人材育成研究部会

日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

モノづくり競争力研究部会

自社の強みを磨き競争力を強化 ～こだわりのモノづくりへの取り組み～

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

生産現場改善研究部会

愚直な改善活動こそが作りあげる強い現場 ～知恵は無限、改善は永遠～

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

葦クラブ研究部会

挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。